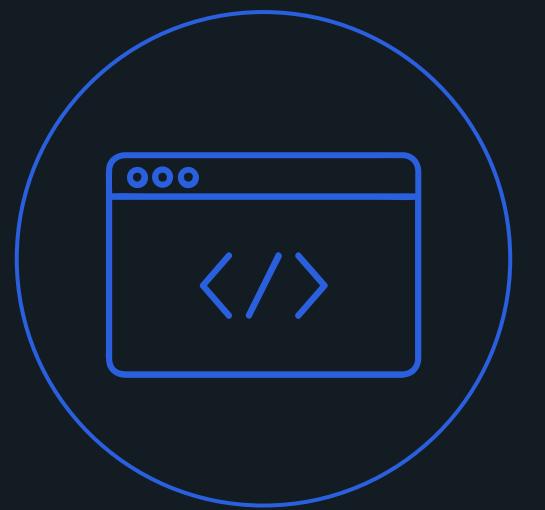
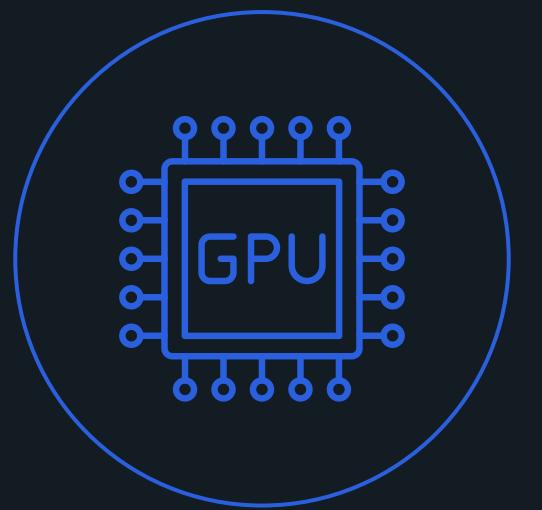


私たちのAIへの歩み

vivo



完全な独自モデル

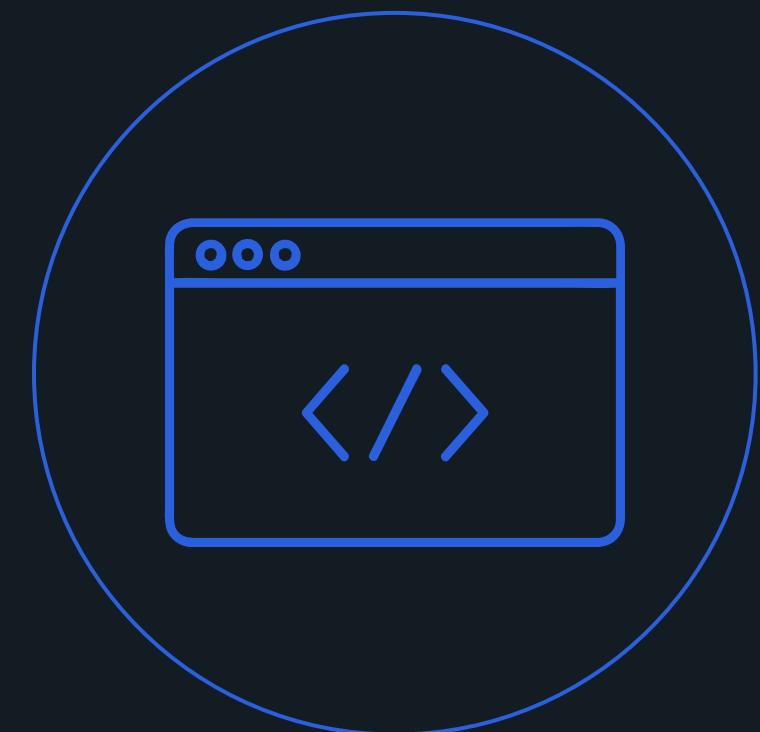


自社GPUグリッドで100%稼働

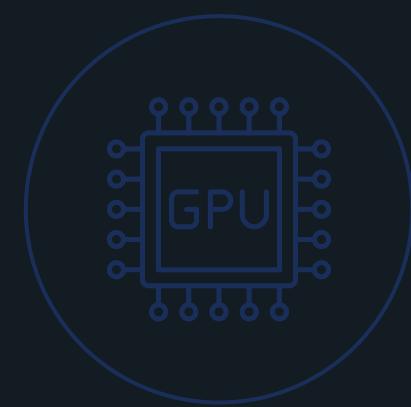


プライバシーを前提に  
作られた仕組み

**VYVO**



完全な独自モデル



自社GPUグリッドで100%稼働

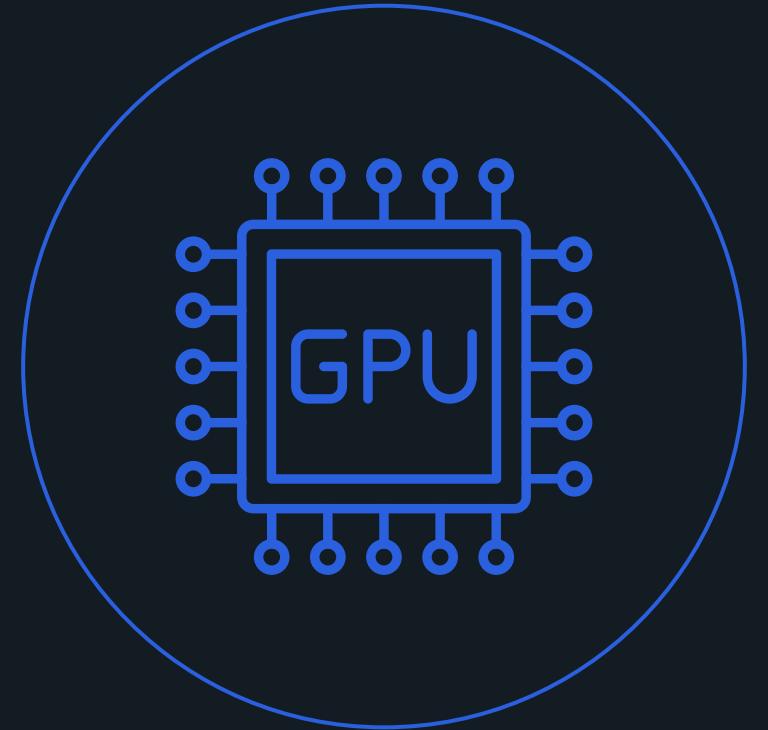


プライバシーを前提に  
作られた仕組み

vovo



完全な独自モデル



自社GPUグリッドで100%稼働

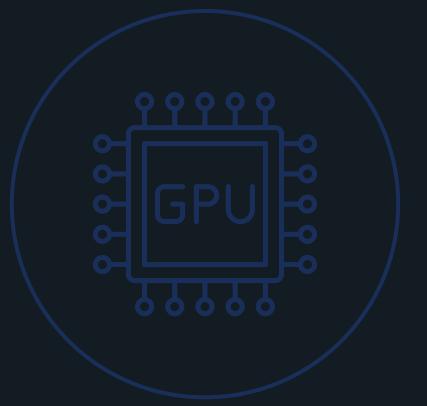


プライバシーを前提に  
作られた仕組み

vovo



完全な独自モデル



自社GPUグリッドで100%稼働



プライバシーを前提に  
作られた仕組み

vovo



# Vyvo AI のビジョンと目標



今後3～5年のうちに、世界中のすべての人が 自分専用の  
ライフ・コパイロットを持つことになります。

人々が自分のライフ・コパイロットとして VAI を選ぶよ  
うにするため、Vyvoは今後3～5年に向けて 3つの主要目  
標を掲げています。

誰でも使える VYVO AI コ・パイロット

ライフ・コパイロットとのやり取りを、まるで人と会話しているように自然でリアルなものにする。本物の人間との違いが分からないほどのレベルを目指しつつ、すべての会話とやり取りにおいて、プライバシーとデータの所有権を最優先に守る。それを可能にするのが、世界初のブロックチェーンベースのAIプラットフォームです。

目標 1

vyyvo

何百、何千ものエージェント、アプリ、プラットフォームとやり取りできる完全なエージェント型AI コ・パイロットを実現する— それにより、ライフ・コパイロットは日常生活に実際の影響を与える存在になります。生産性、ビジネス、プライベート、ソーシャルのどんな場面でも、コ・パイロットは制限なく、枠にとらわれず、まさにあなたの“もう一人の自分”となるのです。



目標 2

vivo

複数のプラットフォーム、デバイス、システムでライフ・コパイロットにアクセスし、利用できるエコシステムを構築する—ウェアラブル、オーブ、VR/ARグラス、ホームシステム、自動車、ロボット、未来のホログラム投影など—Vyvo ライフ・コパイロットを何百もの異なるデバイスや機器と統合できる共通規格を実現する。



目標 3

VYVO



ライフ・コパイロットーコアアプリケーション

**VYVO**

# Vyvo 生成AI 独自性の高い専用コンセプト



vyvo

# 生成AI



vivo

アクセサリー

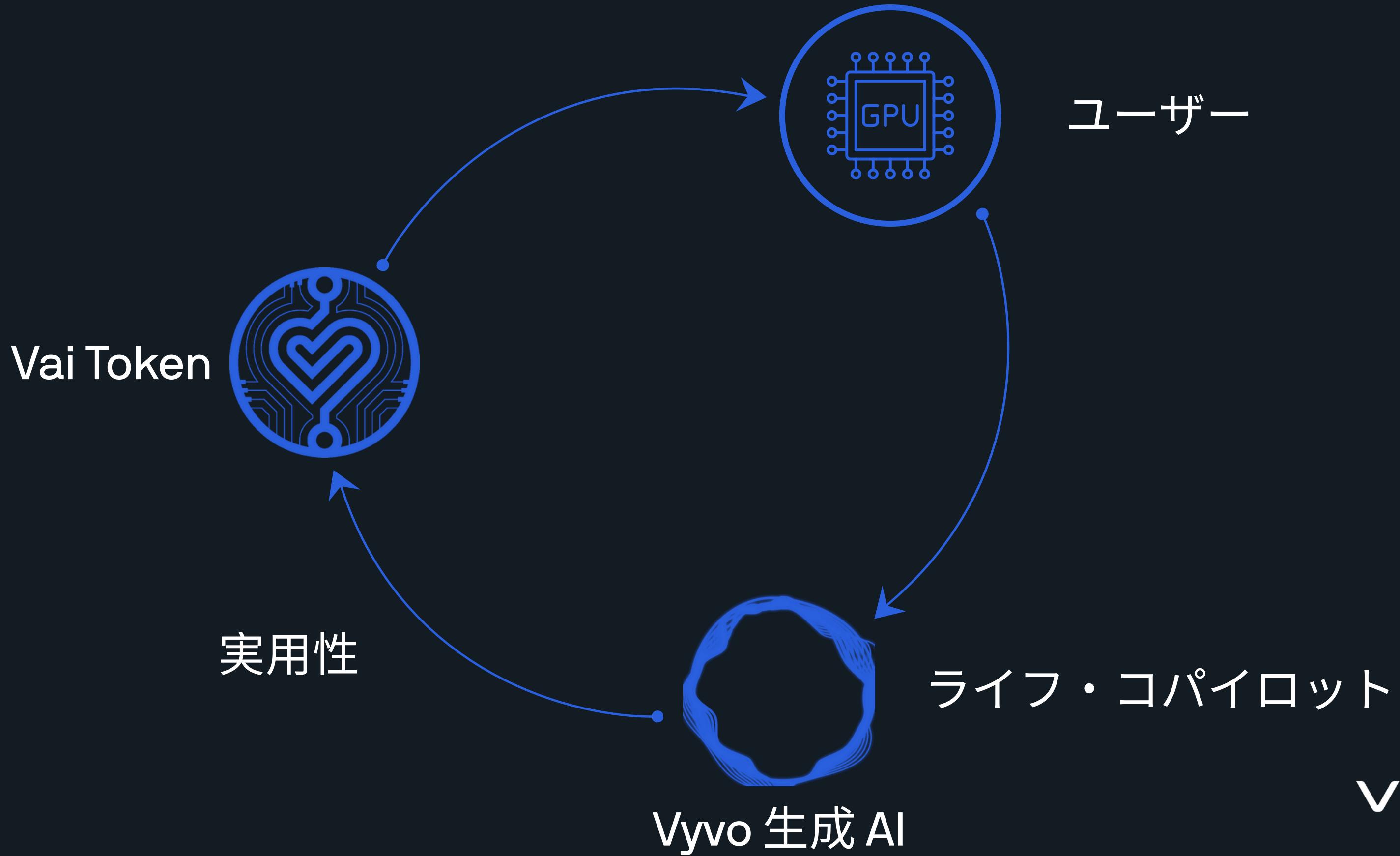


**vyvo**



# GPU駆動型ビジネス

VYVO



vyyvo

2026年1月6日～9日



CES 2026 / ラスベガス

vyvo

ありがとうございました  
ファビオ・ガルディ

vyvo